

NEWS

吉村敏男県議会活動報告
Vol.16

風を通そう!

吉村敏男

福岡県議会議員
副議長
飯塚市(旧4町)嘉麻市桂川町選挙区

よしむらとしお



民主党



10月17日、麻生知事、貞末議長他、約900名の御出席のもと、副議長就任祝賀会が開催され、改めて決意のご挨拶。

福岡空港問題については、まず現空港の有効活用を

二月定例県議会が3月26日に終了し、昨年5月26日に副議長に就任して10ヶ月が経過しました。この間、慣れない中、県議会全体の視界が意識できるポジションにあって情報、視点、運営など、色々な点で大変勉強になりました。議長代理としての数多くのご挨拶の機会をいただいたことも貴重な体験となりました。

二月県議会は金融危機と経済不況、大量失業など、経済、雇用、財政の問題が厳しい局面にあり、それに対応する予算規模や施策も3Pの報告のように活発な議論が行われましたが、今議会の一方の大きな関心は、福岡空港問題でした。この問題で知事は①新宮沖に新空港を建設②現空港に滑走路を増設、の2案のうち、3月26日に最終的に「滑走路増設」案を選択しましたが、民主党県連や民主県政クラブは①現在の空港の需要予測がGDPの伸びを前提に「右肩上がり」の予測となっており、人口等最新の知見にもとづく需要予測では「全国の空港総需要は、ここ4～5年横バイ」であることや、②国は現空港の並行

誘導路を複線化する方向であり、そのことで年間4,000回の離発着増加が見込まれること③空港の運用時間(現在7:00～22:00)を早朝深夜に各1時間延長すれば1時間に10回と仮定して年間約7,000回の離発着回数の増加が見込めること④北九州空港、佐賀空港との連携により、福岡空港の過密化が少しは解消できること⑤海上空港程(9,200億円)はかからないにしても滑走路増設でも2,000億円必要であり、緊急性がなければ大型事業はできるだけ控えるべき、などの理由から「福岡空港の過密化対策は、空港間連携を強化すると同時に既存ストックの有効活用(並行誘導路の複線化、運用時間の拡大)で当面対応し、それでも対応できなければ、滑走路増設を検討する」との結論に至りました。今後も以上の視点を基本に福岡空港問題の今後について議論を進めて行かなければならないと考えています。

2009年春

福岡県議会副議長 吉村 敏男

福岡空港問題の これまでの経緯

1. これまでの経緯

- 89年(平成元年)バブル時代九州山口経済界が「アジアの玄関口」をめざした九州国際空港構想を提唱したが、候補地をめぐって調整が難航し立ち消えとなる。
- 01年(H.13年)に県、市、経済界が「新福岡空港調査会」を設置し、04年4月30日に「新宮沖に560haを埋め立て、新空港を8,200億円で建設する」との基本構想を決定。
- 民主県連は①需要見通し、②費用見積もり、③機能分担等の観点から「新空港反対」を決定。
- 03年(H.15年)4月に知事選を控えていた知事は、02年12月に航空分科会答申が出されたことを受け、新空港建設促進の姿勢をトーンダウン。



△ 2月定例県議会

2. 2002年(H.14年)12月、国の交通政策審議会航空分科会答申

「福岡空港は将来的に需給が逼迫する等の事態が予想され、将来にわたって国内外航空ネットワークにおける拠点性を発揮するよう国と地域が連携し、次の視点から総合的な調査を進めること」とされた。

- 既存ストックの有効活用(現空港の機能強化)
- 近隣空港との連携
- 新空港、滑走路増設等を含めた抜本策

2003年(H.15年)知事選後の7月 国、県、市による福岡空港調査連絡調整会議設置

2003年7月～04年 総合調査の方法の検討や有識者会議の設置

ステップ1 福岡空港の現状と課題など P1(H.17年7月25日から10月31日)

ステップ2 将来の航空需要の予測など P1(H.18年7月10日から9月30日)

現空港の機能強化(並行誘導路の複線化)は離発着回数が年4000回増にとどまることから除外された

ステップ3 検討すべき対応案など P1(H.19年9月18日からH.20年1月30日)

近隣空港との連携は「需給逼迫緩和効果がわずか」とされ、ステップ3の検討の中で外され、滑走路増設3案と海上空港2ゾーン案の検討を提示

※08年(H.20年)6月 国は突然ステップ3で検討もしなかった滑走路の増設新案を提示

※08年8月7日 国土交通省の福岡空港総合的調査専門委員会は、新宮沖の新空港案と滑走路の増設新案を過密化対策案として決定

ステップ4 新設・増設2案の比較評価など P1(H.20年9月25日から12月25日)

- ## 3. 2009年3月26日、知事は滑走路の増設新案を選択することを表明し、新空港建設については調査継続の必要性を強調。さらに北九州空港については、滑走路を500m延長し、貨物の拠点空港とする考えを示す。



2009年度 予算概要

県議会は2月24日から3月26日までの日程で開催され、総額1兆5,892億円の平成21年度一般会計予算など86議案が提案されました。

福岡県の平成21年度の予算編成は、経済危機の深刻化で税収が大幅に落ち込む中、財政再建路線を一時棚上げし、底の見えない経済情勢を下支えするため、雇用創出と地域経済活性化に積極的に取り組むとともに、緊急な政策課題に的確に対応し、財源の重点配分を行うという方針で行われました。

一般会計の予算規模は、前年度当初予算比で3.5%の増、過去10年間で最大の伸び幅となり4年連続で増加したが、歳入予算は、景気の悪化に伴う法人二税等の減収により、県税等の収入が前年度に比べ596億円(8.3%)のマイナスで過去2番目の減額幅となっています。一方、地方交付税や地方交付税の振替措置である臨時財政対策債等が前年度に比べ570億円増加していますが、それでも124億円の財源不足が生じる見込みとなり、これを補うため、財政調整基金などの三基金から124億円を繰り入れることになりました。

また、2009年度末の県債残高は過去最高の2兆7,448億円となる見込みで、県民1人当たりの借金は約55万円に上る見通しです。

歳出予算は、人件費は職員数の削減や給与構造改革などの取り組みにより前年度比33億円の減となったものの、行政施策費が中小企業振興資金融資費の増額等に伴い507億円の増となったほか、義務的経費である社会保障費が生活保護費の増加などにより66億円、公債費が過去に借り入れた県債の償還及び利子の支払いの増加により38億円の増となっています。

景気対策として、重点実施する公共事業費については、景気を浮揚させるために、道路や県立学校の耐震改修などの県単独事業費が、前年度比36億円(3.7%)の増、2月補正予算との合計では、77億円(8.0%)の増となりました。

また、中小企業向けの制度融資枠も500億円から1,000億円に倍増させ、定額給付金の支給に合わせ商工会議所などによる「割り増し付き商品券」の発行を支援するため、交付金として1億5千万円を計上しています。雇用対策では、雇用情勢が一段と厳しくなる中で、再就職が難しい中高年求職者に対し、就業相談や就職実践セミナー等を実施するための中高年就職支援センターの開設や、農林漁業就職セミナーや相談会の開催などによる農業人材の確保、看護職員の確保対策やホームヘルパーの要請訓練などの施策が盛り込まれています。

この結果、財政再建のため平成18年度から取り組んできた「財政構造改革プラン」は、残念ながら当分凍結される見通しとなっています。

PHOTO GRAFFITI 吉村敏男



△ 3月22日、飯塚庄内田川バイパス(9.7km)が全線開通しました。田川バイパス(昭和54年開通)、八木山バイパス(昭和60年開通)、福岡東バイパス(昭和54年～平成13年開通)と繋がり、本県を横断する、産業・生活・文化の大動脈が形成されることになりました。



△ 福岡県立大学の卒業式。



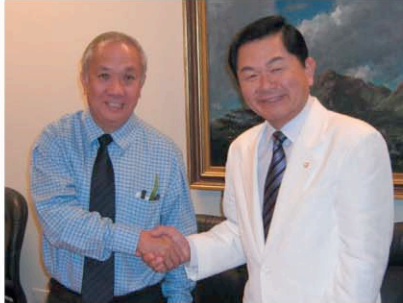
△ 漁業調査取締船「つくし」の古賀修船長と。



△ 3月27日、漁業調査取締船「つくし」竣工式。時速47ノット(87km/h)。ビートルよりも飛び魚よりも早い、日本最速の取締船です。密漁対策や最近の機器による赤潮調査など、筑前海岸沖での活躍が大いに期待されています。

福岡県議会ハワイ州議会友好訪問

2009年1月18日から23日までの間、ハワイ州議会のお招きにより訪問団の団長としてハワイ州議会を訪問、ハワイ州議会上院・下院開会式への出席の他、両院議長を訪問し今後の本県議会との交流のあり方などについて協議しました。また、福岡県人会の皆さんとの交流、県立水産高校の実習船「玄洋丸」が毎年訪問しているルーズベルト高校やハワイ州立大学、ハワイ州政府(教育局)への訪問も行い今後の交流のあり方等について活発な意見交換を行いました。



△ 下院のカルビン・セイ議長を訪問し、今後のハワイ州議会との友好交流や経済問題等について活発な話し合いを行いました。



△ ハワイ大学では、九州大学との留学生の交換協定の締結等について意見交換を行いました。(ハワイ大学日本研究センター ロバート・ヒューイ所長他)



△ ハワイ州教育局長とは中断している福岡県とハワイ州高校生のスポーツ交流の復活など、今後の交流のあり方について意見交換を行いました。(パトリシア・ハマモト教育局長)



△ 玄洋丸を視察し、ルーズベルト高校から提案があった、実習中の同校との交信や実習帰途の同乗の可能性を調査しました。



△ ルーズベルト高校では、県立水産高校との交流について謝意を伝えました。その折、「水産高校の実習船・玄洋丸がハワイから帰る際に同校の高校生と一緒に乗せることは出来ないか」との提案がなされ、現在、外務省、国土交通省と協議中です。また、玄洋丸と同校生徒との衛星回線を使っでの交信も提案され、今、具体化に取り組んでいます。(アン・A・マヒ校長)



△ 九州大学とハワイ大学との交換留学協定について協議しました。現在、実現に向け調整中です。

ハワイ州議会上院・下院議長から要請があった、福岡～ホノルル線の再就航について、JALに対し、県議会として要請することが決定し、4月13日に正副議長で申し入れを行うことになっています。



△ 日本文化センターにおいて、パートランド小林会長(向かって私の右横)をはじめとするハワイ福岡県人会と今後の交流のあり方などについて話し合い、交流を図りました。



△ 上院・下院に分かれて開会式に参列しました。(コリーン・ハナブサ上院議長と議場で)



△ 実習航海中のハワイ・ルーズベルト高校と交流するため、県議会日米議連から県立水産高校長にデジカメを贈呈しました。

2月10日 民主党公認決定!!

民主党福岡県第8区総支部代表
山本ごうせい



国民の生活が第一

地域のために

この国のために

国民の生活を守るために

未来への責任を果たす

吉村敏男 事務所

〒820-0082 飯塚市若菜52-1
Tel.0948(23)1210 Fax.0948(25)6071